

米国高速鉄道、中国猛烈アタック！ 価格とスピードを勝負に売り込み！

1月21日の朝日新聞によると、米国フロリダ州の高速鉄道計画に対し、8グループが春の入札に名乗りをあげ、中でも、中国と米ゼネラル・エレクトリック（GE）が組めば、日本の新幹線の強力なライバルとなると報道しました。

すでに、GEと中国の鉄道車両メーカー「中国南車」が米国内に合併会社を設立する合意がされ、フロリダ州とカリフォルニア州からの高速鉄道の受注を狙うことを明言しています。また、GEのジェフリー・イメルト最高経営責任者（CEO）は、高速鉄道システムの中国への輸出を含め、発電機、環境技術などで20億ドル（約1,600億円）の契約を中国企業と結んだと発表しています。

更に報道では、専門家の話として、「海外で競争するとき、技術と価格と政治」が重要で、価格は中国に強みがあると報じ、中国が売り込む高速鉄道「和諧号」は、価格とスピード（時速380km）で勝っているとしています。

オバマ大統領は、米国の高速鉄道ネットワーク計画をたてていますが、米国経済は非常に厳しい状況に追い込まれています。すでに一部の州では、高速鉄道の財源を巡るトラブルが生じています。すると、価格が安い方になびくことは十分考えられます。

J R 東海は、すでに米国内にコンサルタンツ会社2社を設立し、新幹線やリニアの売り込みを開始しています。このような、海外への売り込みはリスクのある投資です。この計画がボツになれば、J R 東海経営陣の責任は免れません。働くものへ責任転嫁されたのではたまったものではありません。私たち、労働組合がしっかりチェックしていかなければなりません。

さあ、どうする新幹線！
失敗はJ R 東海の経営責任に及ぶ！